2022年（令和4年）10月1日
くげぬま探求クラブ

会報 くぐひ

第111号（秋号）

◇ くぐひ（鵠）は白鳥の古い呼び名。鵠沼には昔たくさんの白鳥が飛来したことによる ◇

公民館まつりの概要と当クラブの参加イベント

世話人副代表 田中 章

本年6月1日に「第46回鵠沼地区公民館まつり」（以下「公民館まつり」と略）の第1回実行委員会が鵠沼公民館本館ホールで開催され、先ず新実行委員の中から役員の選任が行なわれた。互選の結果、委員長には鵠沼公民館評議員会から出席の小生が前年度に続いて選出され、副委員長には山口公民館長の推薦により浅野朝子さん（社会福祉協議会）、小林祐子さん（サークル交歓会）が委嘱された。この実行委員会は我がクラブをはじめとした鵠沼公民館を拠点に活動するサークルのみならず、交通安全父母の会、民生委員児童委員協議会、商店街振興組合、町内会等、地域の各種団体の代表30数名が委員となっており、公民館まつりは正に鵠沼地区住民が総力をあげて実施する最大の年間行事である。

次に新型コロナウイルス感染未収束の状況下に於ける公民館まつりの方向性が議論され、事務局から提案の10月15日（土）、16日（日）にコロナ感染対策を充分行なった上で開催することが承認された。また、例年公民館まつりの1週間前に開催されてきたプレイベント（音楽祭、講演会等）については、今年は中止。それに代えて、我がクラブが公民館から委託されて運営を担ってきた「古本市」を10月8日（土）に本館ホールで行うこととなった。

この決定を受けて、当クラブの方針について検討の結果、鵠っ子囲碁・将棋ルーム、手づくりおもちゃ、災害研究部会は10月15日～16日に、ヤングブラザーズは10月15日に 参加することとなった。

第1回公民館まつりは1977年2月25日～27日に開催され、今年で第46回目を迎える。この伝統あるまつりがコロナの為、本年は限定された形での開催となるが、展示制作部門は29、模擬店・バザーは23、芸能音楽舞台発表は25もの団体の参加が予定されており、この数字は全体として、3年前を上回っている。これもいかに地域サークル・団体がこのまつりを待ち望んでいたかを物語ると言えよう。探求クラブ創設以来、全クラブ員が参加する最重要イベントであるこの公民館まつりを、我々自身が楽しみながら、地域の住人の方々との交流を深める機会となることを願う。

公民館まつりへの参加イベント紹介

第46回鵠沼公民館まつりへの参加イベント担当者から、コロナ感染対策下で3年ぶりに開催される公民館まつりへの参加の意気込みを執筆していただきました。

1. 古本市

久し振りの公民館まつり古本市開催が予定されている。どれくらいの人が来てくれるか、どれくらいの数の本が集まるかワクワクして今から力が入る。一方、コロナ感染防止という条件の中で、なるべく多くの人に楽しんでもらう方策と厳しく課される制約とのバランスをとるのが難しい。しかし準備作業や当日の応対に精一杯取組んで例年のような充足感のある古本市の一日を送りたい。

（嶋村 堯敏）

2. 鵠っ子囲碁・将棋ルーム

3年ぶりの公民館まつりの開催、待ちに待った思いです。新型コロナ感染の終息がはっきりと見通せない中、月例のルームは種々の対策を取りながら昨年の10月より連続して開いています。まつり会場は、恒例通り駐車場にテントを張り、縁側対局の風情です。感染防止の基本の方策を実施して、閉塞した部屋から解放される空間で、子供に限らず楽しんでもらう情景を思い浮かべて、怠りなく準備します。

（河村英二）

3. 手作りおもちゃ

手作りおもちゃ 3 種:各担当者の思い ①紙トンボ(担当:塩川)材料は牛乳パックとストローで材料費が安く、作り易く安全でよく飛び、手作り感、達成感を味わって貰えます。②CDコマ(担当:塙)材料は要らないCD、ボトルキャップ、ビー玉。CD面に紙を貼り、子供の発想で自由に絵を描いてもらいます。コマの回転で模様が異なって見え、いつまでも心に残る思い出を提供します。③輪ゴム鉄砲(担当:野村)昔ながらのおもちゃを作って、会場の一角で、的当てをして楽しんでもらいます。 (野村 時男)

4. 災害時のトイレ対策

3 年振りの公民館まつりで、またまた『災害時のトイレ対策』を展示する。

展示場所が空気の流通が良い通路なのはコロナ対策の利点だが、出来るだけ読めばわかる記述に見直し口頭説明を減らす。切実な課題である 3 日間溜まった自宅のトイレで流せない物量の多さと解決策を説明に加える。また飲料水箱の大きさを実物展示することで実感していただく。 (柳田 敏雄)

5. ヤングブラザーズ

歌い続けて 20 年。これまでヤングブラザーズは、意欲的に男声合唱を愉しんで来ました。2 年の空白を超えて成果発表の場を得た今年は、特に意を強くしています。

クラブの状況と同じ、ひたひたと寄せる高齢化の波へのブロックままならず。かつての 30 人も、時流れて昨今は 20 人。四部合唱(トップテナー、セカンドテナー、バリトン、ベース)の編成を三部(バリトン・ベースを一体化)に編制替えを余儀なくされました。それでも、個々の歌唱力アップの成果で表現力に顕著な衰えは見られず、みんなホッとしています。

ステージのコンセプトは「合唱で巡る世界の旅」です。

ドイツ	自由の歌(昔の学生歌)
中国	大海啊、故郷(ダーハイ ア グーシャン)
フランス	ラ・メール
ロシア	アムール河の波
日本	高原列車は行く
	今日のひととき(エンディング曲)

(池田 修)

くげぬま探求クラブ以外でのボランティア活動

学習支援ボランティア

岸 保宏

探求以外のボランティアについて書くようにとの話を頂いた。

2002 年に鵠沼へ引っ越して来た当初、藤沢市では知り合いが無く、先ずは地元を知ろうと藤沢市の成人学校「かわせみ学園」に入学、いきいき学部地域活動学科で 2 年間学ばせてもらった。1 年目は幅広く一般教養、2年目は自主的なグループ学習となり、細田さん(探求会員)たちと、「子供の生きる力の育成へのシニア世代の活用」を目的に据え研究した。かわせみ学園卒業後、研究を生かして実際に活動をしようと、「ふじさわ子供クラブ」を 2006 年に 4 人で発足させ、以後、学習支援ボランティアを続けており、現在の在籍者は 7 名で要請が来た時の参加日程を調整している。

思い出に残る授業が二つある。

最初に学習支援に行ったのが市立秋葉台中学校で、授業後の補習(添付写真)に参加、私は英語を希望する生徒を担当した。この生徒たちとは 2 年ほどお付き合いし、クラブ員は卒業式にも関係者として招待されたこと。

次に、藤沢市民ホールの部屋で教室を開いていた滞日外国人向けボランティア日本語学校から手伝いを頼まれ韓国、中国、ベトナム、ミャンマーなどからの研修生に日本語を教えた。その中に高校 2 年のブラジル女子生徒がいて、保育士になる受験の手伝いを頼まれ、毎日学校の後教室に来るので、クラブ員で科目を分けて担当し、私は主に英語を教えた。受験前に父親のいるアメリカに渡っていったが、この子は1年ほど

クラブに教育を任されていて、クラブ員でいつも教育方針を議論したので印象深い。現在は亀井野の県立中央児童相談所の「自立の館」と市立第一中学の 2 か所で活動中。

「自立の館」は主に中学生で、色々な事情で養育者から離れ、ここに住んでいる 20～30 名の生徒が館内の学習室で勉学をしており、学習支援に行っている。館内という住居内での学習室であり、コロナ対策のため、現在は私たち外部からの学習支援は、残念ながら一時中止となっている。

第一中学は、春休みや夏休みに開く自主学習室の学習支援に行く。緊急事態宣言やまん延防止が出ている時は中止されたが、その他の時は対策を取りつつ開かれたので、コロナがそれなりに収まっている時には学習室が開かれ、ボランティアに入っている。今年も夏休みに入ったら開くからとボランティアの要請が来ていたが、開始日の 7 月 25 日には第 7 波の患者が東京都で 3 万人、神奈川で 1 万人、全国では 20 万人超えとなり、残念ながら前日の 7 月 24 日に中止の連絡が入った。

探求の地域活動はコロナによって様変わりしているのと同様に、学習支援活動もコロナの影響を強く受けている。気力、体力、脳力があるうちに、コロナ禍がおさまり、ボランティア活動が出来るようになって、早く元気な子らと会えるように願っている。

民生委員児童委員のボランティア

玉田 英二

表記のようなボランティア活動について記載することになりましたので、民生委員児童委員について紹介してみたいと思います。皆さんも民生委員という名称は聞いたことがあると思いますが、どのようなことを目的として活動しているのかについては、漠然としているのではないでしょうか？ここでは具体的な活動内容をお話しするとともに、私が所属する団体・藤沢市鵠沼南地区民生委員児童委員協議会（以下「鵠沼南民児協」という）についても説明しようと思います。我々の鵠沼南民児協は、今年 2 月に鵠沼公民館パネル展示において、パネル製作したものを展示させて頂きました。さらに 5 月には藤沢市役所のロビー展示にも約 1 か月間パネル展示し、民生委員児童委員の広報活動を繰り広げています。

- ❖鵠沼南民児協：活動地区は、鵠沼地区全人口 6 万人の内半分にあたる、南部地区を担当しています。毎月初旬に定例会を開催し、前月の活動状況の報告書を提出し、今月以降の活動予定（研修会や部会活動）の調整を行います。現在の民生委員児童委員の在籍者は 31 名であり、欠員は 3 名となっています。
- ❖任期と委嘱：任期は 3 年間で、今年改選期にあたり 12 月 1 日より 3 年後の 11 月 30 日までとなり、全国一斉に行われます。委嘱は、厚生労働大臣、神奈川県知事、藤沢市長から 3 通を受け取ります。
- ❖定められた職務：援助を必要とする住民が自立した日常生活ができるよう生活に関する相談に応じ、助言やその他の支援活動をします。支援を必要とする住民が福祉サービスを適切に利用するために必要な情報の提供、その他の援助をします。（民生委員法）

民生委員スローガン

「きづき・見守り・つなぐ」です！

毎年 6 月の定例会では、市の高齢者支援課よりそれぞれの地区担当者に高齢者調査に必要な資料の配布が行われます。これは藤沢市内の高齢者に関する一斉調査を行うもので、6 月中に調査をして 7 月の定例会時に調査表を提出することにより、市内における高齢者に関する実態把握を行うためのものです。我々もその状況を把握し、その対応については「いきいきサポートセンター」等へのつなぐことや自らの見守り継続活動の資料となるものです。

私が担当した今年 6 月の調査活動の内容を説明すると、一人暮らし高齢者（75 歳以上）のお住い訪問調査は 20 名強、健康問題（持病や掛かり付け医）や生活上における変化、緊急時の連絡先の確認等をお聞きして調査表に記載し提出するのですが、気になる方がおられ、日々見守り状態は継続されることになります。一方、高齢者世帯登録者（全員が 75 歳以上）のお住い訪問調査は 20 世帯強、資料に記載されたとおりの状況であるか、健康や日常生活に問題はないかなどを確認します。その他、75 歳未満でも一人暮らしの気になる方や障がいのある方への訪問や電話による問い合わせを行いますが、このような高齢者の方は何らかの問題を抱えた方が多くいらっしゃいます。

近頃感じていることは、社会福祉の増進に努めること、その職務を行う上に必要な知識及び技術の修得に努めることです。それを実践する協議会に在籍することは、社会のため地域のためにも必要なことであるのですが、それなりの覚悟とエネルギーを要することになります。もはや 6 年目になった民生委員ですが、その職務なりが理解できるようになり、協議会の目的や役割についてもどうにか対応力も付いてきました。民生委員で定められている職務や規則を受け入れて活動して行くには、高齢化して行く我が精神と肉体にとっては厄介に感じることが間々あるのです。

ボランティアとは、自発性や自主性によるところが大きく、ある程度の地域社会への貢献はあるものの、もっと自由度があって、出来る時に、出来ることを継続して行く！このような状況がベターであるとするならば、これらのことを考え自分にできる範囲を再考することが必要かと思っています。

ビフォア・アフター

探求クラブとの楽しい時間

吉原 正夫

［一］ 私が探求クラブにお世話になり(2013 年 1 月入会)早いもので 9 年が経ちます。

私が入った部会は鵠っ子囲碁・将棋ルームで子供達に本当に教えられるか、河村さん始め先輩方が接する姿を見ながら覚えて行こうと思いました。駒をさわったことのない年少の子供も随分いましたね。そういう子には優しく文字通り手を取って教えていました。また、将棋道場に通っている有段者もいたりと、バラエティに富んでいました。

動物将棋(盤、駒)を家から持って来る子もいました。その子も 3 月の将棋大会に出場して「お母さん勝ったよ」と駆け寄る姿はなんとも微笑ましくこちらも嬉しくなり涙を流したことを思い出します。私は幇間(ほうかん)稽古がきらいなので初心者の生徒以外では真剣にさします。負けて泣くぐらいでないとこれでいいかどうかはわかりませんが？　最近は教室で真剣に指している子もる反面、ふざけている子がいると情けない気持ちになります。そういう子は朝の挨拶もできてないですね。どこの世界でも親しき仲にも礼儀ありで、教室に通う生徒同志でも「おはよう」ぐらいは言ってもらいたい。自分にも厳しくやっていこうと思います。

［二］ 現在健康部会の部会長を仰せつかっています。コロナ禍で、集団で行動してはいけないと世間では言っていますが健康部会はお構いなしで(いいのかな？)、こっちの公園、あっちの山と雨天時を除く以外楽しく行動しています。メンバーの皆様が少しでも長く我が世の春を満喫されるよう、いいコース作りをして健康に留意して過ごしていこうと思っています。

なお、2022 年健康部会上期活動は…

1 月 14 日	探訪部会と合同　藤沢七福神めぐり	17 名
2 月 25 日	衣張山	8 名
3 月 25 日	湘南の名城大庭城跡の桜	9 名
6 月 24 日	大仏切通から源氏山	8 名

これからも子供にやさしく自分に厳しくやっていきますのでよろしくお願い申し上げます。

少しは世間に役立っていることを実感

塙 泉

現役時代は朝早く家を出て夜遅く帰る典型的な「会社人間」でして、たまには「赤ちょうちん」に誘惑されることもありましたが、担当してきたトラックの商品企画に没頭する毎日でした。

そのような状況でしたので、定年後の生活設計など何も考えずに 60 歳の定年を迎え、そのあとの 11 年間は系列会社に移って同様な仕事をすることになるのですが、異動を契機に「仕事がすべて終わったら何をやるか」を真剣に考えるようになりました。

まず、第一には、長年にわたって蒐集してきたジャズレコード 1500 枚を隣近所にはばかることなく大音量で聴く環境を整えたい、次に、今まで横目で眺めていたオペラ鑑賞にじっくり浸りたいということでした。

それからは、家内と共に家探しに奔走。やっと箱根の外れに一軒の家を手に入れ、そこで生活が出来るよう家財道具、音響装置、レコード等を運び込みました。

やがて、すべての仕事から解放されて、鵠沼と箱根を半月毎に行き来するという希望通りの生活を永らく送って来ました。

しかし、この生活にも飽きて来たある日、たまたま広報で鵠沼公民館「おもちゃの病院」を知って、おもちゃ修理をやってみたいと思い、公民館に問い合わせたところ、まず「くげぬま探求クラブ」に入会が必要と聞き、さっそく入会した次第です。

子供のころから「機械いじり」をやって来ましたが、おもちゃ修理は初めて。諸先輩に教えてもらいながら試行錯誤を繰り返すうち、一部のおもちゃでは機械工学の常識では決して許されないメカニズムを採用していることを知り益々興味を惹かれました。それは単に構造を簡素にしてコストダウンを図るというのが目的なのですが。

治ったおもちゃに歓声をあげる子供から私も喜びを分けて貰い、少しは世間に役立っていることを実感している昨今です。

「くげぬま探求クラブ」はあなたの入会をお待ちしています。
「会社人間から社会人間へ」を目指す方々は「発行人の大木」までご連絡下さい。
ホームページアドレス　http://kugenumatankyuclub.web.fc2.com/ 、
左の QR コードまたは「くげぬま探求」、「鵠沼探求」で検索してください。

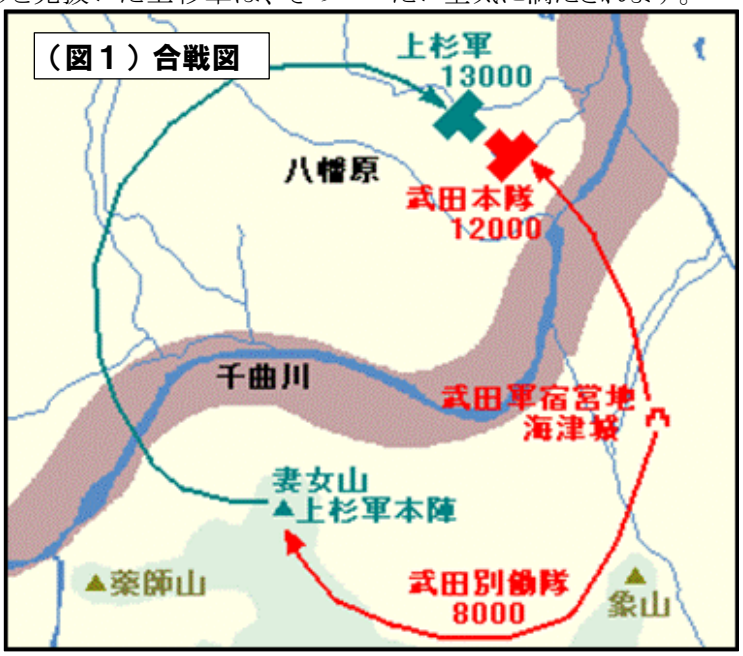
シリーズ　明日から役立つ気象のはなし

（5）霧が勝敗を分けた（？）川中島の合戦

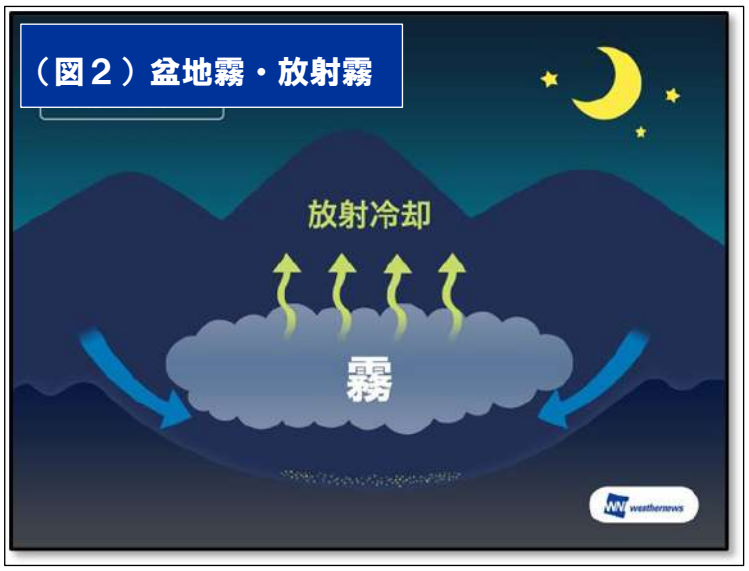
小川 隆

今から 461 年前の永禄 4 年 9 月 10 日(1561 年 10 月 28 日))、戦国時代屈指の激戦、第四次川中島の合戦が行われました。武田信玄が率いる二万は海津城(かいづじょう)に陣を張り、上杉謙信が率いる一万三千人は妻女山(さいじょさん)に陣を張って、にらみ合いを続けていました。合戦の前日、武田信玄は、妻女山の背後に別働隊を向かわせ、自身は千曲川を渡り、八幡原(はちまんばら)に本陣を移動しました。別動隊に妻女山の上杉謙信を攻撃させ、上杉本軍を麓の八幡原に追いやり、これを平野部に布陣した本隊が待ち伏せし、別働隊と挟撃して殲滅する作戦を計画しました。

一方、武田軍に動きありと見抜いた上杉軍は、その裏をかくべく夜間に、妻女山を下り、馬の鞭音を忍ばせながら静かに千曲川を渡ります。詩吟でお馴染みの「鞭声粛粛夜河を過る」（べんせいしゅくしゅく　よるかわをわたる)の場面です。早朝に八幡原に移動した上杉軍は濃い霧にまぎれて武田信玄の本陣に接近しました。そして合戦の朝、霧が晴れた八幡原で武田軍が見たものは、目の前の上杉の全軍で、ここに第四次川中島合戦の火蓋が切られました(図1)。



武田信玄にとって、上杉軍の出現は予想外であり、戦いは上杉軍優勢で始まりました。しかし、武田信玄の別働隊が戻ってくると形成が逆転、上杉軍は三千人、武田軍は四千人とも言われる多数の死者を出し、戦いは引き分けとなりました。この合戦で重要な役割を果たすのが「霧」の存在です。霧が晴れ上がったのが 8 時頃と言われていますが、この時刻より早く霧が晴れれば、武田信玄は、もう少し早く上杉軍の接近を把握し、予定通りの挟み撃ちで勝ったかもしれません。逆に、霧の晴れるのが遅ければ、上杉軍がもっと武田軍に接近してからの戦闘開始となって別働隊の救援が間に合わない可能性があり、上杉謙信が武田信玄を討ち取っていたかもしれません。



何れも想像の域は出ませんが、霧が合戦の勝敗に影響を及ぼしたことは確かだと思います。合戦の舞台となった長野盆地に位置する八幡原は、犀川と千曲川の合流点付近になります。川の近くのため空気中の水分量が多く、霧が発生しやすい場所といえます。そして、戦いの行われた晩秋は、移動性高気圧が本州付近を覆うことが多くなります。移動性高気圧の圏内では、夜間に地面の熱がどんどん空に逃げ、地面が冷やされます。更に盆地を囲む斜面からも冷気が流れ込み、盆地は冷たい空気に満たされます。

すると、空気中の水蒸気が水滴となり、これが霧となります。このようにして出来る霧を「盆地霧」または「放射霧」といいますが、合戦の朝の八幡原を覆っていたのは、この霧だと思われます(図 2)。この冷たい空気の溜まった盆地で霧が発生すると、大気が安定しているため、翌朝の日差しで気温が上がるまで、霧はなかなか消えることはありません。

霧はそれ自体が猛威を振るうわけではありませんが、人間活動にさまざまな影響を及ぼします。なかでも、霧は交通の大きな妨げとなります。

今年(2022 年)1 月 27 日に千葉県木更津市内の圏央道で、車 12 台が絡む交通事故が発生しましたが、事故当時は霧で視界が悪く、車が次々に追突する事故となったようです。霧が発生しているときに起きた交通事故における死亡事故の割合は、交通事故全体平均値の約 2.5 倍。霧は正面衝突など、被害の大きな事故を発生させる原因となります。霧は秋の季語。行楽など、車でお出かけの際には霧にもご注意を。

地域活動部会紹介

新旧極楽部会長の抱負

良き後継者に恵まれて

前部会長 嶋村 堯敏

極楽部会の部会長交代の記事を書くように、との仰せがあった。世話人の交代でもないのに、新旧のリーダーがそろって、貴重な紙面を占めるなど、あまり聞いたことがなかったが、折角の機会をいただいたので反省などを書いてみた。

談話室での議論で、広い観点から終活を勉強する新しい部会を作ることになった時、このテーマには私も以前から興味を持っていたので、ぜひ参加したいと思っていた。

そして「誰か」のリーダーの下に、実際に役に立つことを議論しながら身につけることは楽しいし、有意義なことだろうとおおいに賛成の意思を表した。しかし「誰か」が私になった時には慌てふためき、自分の迂闊さを恨んだものだ。

極楽部会は地域貢献グループに属しているが、これまでに数回の講演会や会員向けのアンケート実施などでお茶を濁してきており、他の地域グループのボランティア活動とだいぶ異なっている。当初はもっと地域活動をする意気込みもなくはなかったが、前部会長の能力不足で未達に終わっている。親睦研鑽グループに入って、気楽に活動をすればよかったと反省している。

とはいえ、自分の興味あるテーマゆえ、また当時は好奇心も旺盛だったので、多方面に情報を求め、それらを部会資料としてまとめることは苦痛ではなかった。しかし、底の浅い井戸は枯れるのも早いもので、新しいテーマを探していく気力も徐々にさめていき、1～2 年前から部会長交代を何人かの人と相談していた。

世に言われるように、リーダーの能力や考え方が、環境や組織メンバーなどの要求に応えられなくなった状態で、この流れを無視して居続けると唯我独尊になったり、組織自体やそこから産み出すものを腐らせることになる。「転石苔むさず」といって徒に長期に亘る地位を誇るものもいるが、この諺（の反対解釈）に当てはまるような人間は歴史を覗いて見ても滅多に見当たらない。
きわめて小規模で世間的影響力が小さいくげぬま探求クラブではあるが、世話人の任期や重任禁止が規定されていることは先輩方の慧眼のなせる業である。

今回の交代には良き後継者が得られホッとしている。交代してから数回の部会活動だが、以前とは異なり、意見交換が活発になったような気がする。テーマだけでなく活動の進め方も新しくなって、くげぬま探求クラブの中でも一層議論の多い部会になることが期待される。

「明るく愉快に終活を楽しむ」部会に

新部会長 坂口 純則

極楽部会には、仏教に対する親しみから、「極楽」という名称に惹かれ参加しました。

極楽部会は、活動履歴（ホームページ）にあるように、2015 年 9 月から毎月、健康、介護、家族信託制度等の諸制度、リビングウィル、外部団体による講演・講座の実施など多岐に亘るテーマを実施してきており、嶋村部会長を始めメンバー皆様の学びの熱意と努力に心から敬意を表する次第です。

コロナ明けの部会再開の折、嶋村部会長から部会継続の是非を問う投げかけがありましたが、継続を望む声が多く、続くことが決まりました。また、部会長の負担軽減のため、テーマを出し合うことや、報告の分担制を取り入れることが決まりました。その第 1 回目が私の担当となり、「死生観」をテーマに発表させて頂きました。

そして、今年 3 月頃、嶋村さんから部会長引継ぎの打診がありました。新人会員の身なので、メンバーの皆さんから同意を得られることが条件ですと、やんわり断ったつもりでしたが、皆さんから特に異論もでず、引き受けることになりました。

今、部会長という責任の重さを、ひしひしと感じておりますが、引き受けた以上は、これまでの実績と「明るく愉快に終活を楽しむ」という理念を継承しつつ、更なる深化と発展を目指していく所存です。幸い、メンバーの皆様から、「一人で力まず、みんなでやっていけば良い」との励ましも頂き、少し肩の荷が降りたような気がしております。

進め方については、テーマは「明るく愉快に終活を楽しむ」という理念を外さず、都度、話合いで決め、発表は、できるだけ持ち回り制とし、かつ、意見交換の時間を重視する運営（半分レクチャー、半分話し合い）を行っていきたいと思っております。

7 月は「健康長寿とはなにか」、8 月は「老いと記憶」というテーマを取上げ、学びました。

そして、意見交換の時間もしっかり確保でき、まずまずの滑り出しとなりました。

次は「私の健康法」につき、塩川さんに発表してもらい、その後、各人の健康法を話してもらい、それぞれが参考になるところを取り入れ、実践に繋げていければ良いと思っています。また、極楽部会の活動が、探求クラブの皆様にも役立つよう情報発信に努めて参る所存です。今後ともよろしくお願い致します。

～例会・各部会活動報告～

６月　June

○例会４日(土)36名。鈴木世話人６月末退会、世話人の補充はせず５名体制の報告。30周年記念行事委員会は田中章委員長、嶋村、池田修、小山、田中力、奥村、大木、坂口の８委員。
○世話人会１日６名 例会準備。公民館まつり打合せ。
○アーカイブ委員会 18 日(土)8 名◆スキャンデータ保存方法◆スキャン実施
○くぐひ制作部 8日(水) 10名 くぐひ110号(令和４年夏号)の第三回編集会議、原稿の推敲完了。
○30周年記念行事委員会 29日８名２回目の会合
○ボウリング大会 8日 6名(2) 江の島ボウリングセンター、優勝、森(正)。
○鵠沼松が岡公園愛護会５日18名、19日13名。清掃。
○藤が谷公園愛護会 12日９名。花壇の整理、清掃。
○ヤングハーツ ９日４名 「亀吉」での演奏会。
17日脳活倶楽部で演奏
○おもちゃの病院 12日11名(2) 来院11名、26日11名(1) 来院23名、故磯川さんの部品、工具を頂く。
○子どもと遊ぶ会 12日７名(1)児童館 子供43名 職員/PTA 13人:ミニ植木鉢絵付け、紙トンボ、水鉄砲
○鵠っ子囲碁・将棋ルーム 19日 ５名(1) 子供16名 父兄４名。
○災害研究部会 ３日15名(3)、藤沢防災ナビ等。
○極楽部会15日 12名 新部会長に坂口さん。
○健康を探求する会 23日 ８名(1) 足のトラブル
○健康部会 24日 ８名 大仏切通、源氏山、寿福寺
○探訪部会 21日 ６名 鎌倉史跡、源氏山、高徳院
○農園部会 ５日６名、25日５名、ジャガイモの収穫。
○談話室 15日11名 迷惑メールemotetの実態と対策。
○ヤングブラザーズ 11日15名(5)、25日15名(4)公民館まつりの公演に向けて練習。
○デジタル情報部会 27日18名 台湾のネット社会等
○似歌会 通信句会 10名 兼題「紫陽花」で30句
以下の委員会・部会は新型コロナ感染対策等のため休会
○メディア委員会･ＨＰ制作部 ○サロン会
○カラオケ部会 ○近代史を語る会 ○企業研究部会
○なつかしの名盤愛好会 ○おひる探Ｑ会

７月　July

○例会２日(土) 32名。7～9月分会費徴収見送りを承認。
○世話人・委員会 世話人会６月 29日、５名、資料を検討。
○30周年委員会 27日(水)7名、30件の提案があった。
○アーカイブ委員会 16日(土) ６名 スキャンを実施
○くぐひ制作部 13日 ７名　第111号(令和４年秋号)第１回編集会議。
○メディア委員会及びＨＰ制作部は休会
○鵠沼松が岡公園愛護会 ３日18名､17日12名 清掃後、30周年記念行事につき討議。
○藤が谷公園愛護会 10日10名　清掃活動
○ヤングハーツ 13日幹事会&練習、18日亀吉訪問演奏。
○おもちゃの病院 10日 11(2)名 来院31名、24日 参加11(1)名 来院16名。
○子どもと遊ぶ会 ２日４名、ひょっこり鵠南島七夕祭。
○鵠っ子囲碁・将棋ルーム 17日 参加 子供17名 探求7(1)名 父母５名。子供数人が将棋と囲碁を楽しんだ。
○災害研究部会 １日 14名(3)。７月の天気など
○極楽部会 20日 12名 リビングウィルに載せる項目。
○健康を探求する会 28日 ８名 健康長寿とは。
○農園部会５日６名、19日５名、各種作業。
○談話室 20日 12名 井上さんの北海道旅行。
○近代史を語る会 14日 10名(3)､昭和時代の22回目。
○企業研究部会 26日 ９名、麒麟麦酒横浜工場訪問。
○デジタル情報部会25日20名 アカウントとは等。
○ヤングブラザーズ９日15(6)名､30日13(3)自主練、公演予定曲練習。
○似歌会　通信句会 10名30句 兼題は「桜餅」
○サロン会 ○カラオケ部会○なつかしの名盤愛好会
○おひる探Ｑ会は、新型コロナ感染対策等のため休会
○健康部会 ○探訪部会は夏休み

８月　August

○例会６日(土) 27名 納涼会は中止。公民館まつり進捗報告。佐々木裕一さんが退会し会員数は44名。
○世話人・委員会 ①世話人会 ３日５名、資料の検討
②アーカイブ委員会 20日 ５名 例会資料スキャン
③30周年記念行事実行委員会 24日 ７名 32件の提案をアンケートを参考に整理。
④くぐひ制作部 10日８名 第111号の２回目編集会議
⑤メディア委員会・⑥HP制作部 は休会
○鵠沼松が岡公園愛護会 ７日17名、21日13名。清掃
○藤が谷公園愛護会 14日 ８名(1) 清掃。
○ヤングハーツ ３日 幹事会３名 練習７名、15日亀吉５名、19日ラフターヨガ 公民館 ２名
○おもちゃの病院14日9(1)名 来院13名、28日11名(2) 来院19名。長期保存おもちゃを仕分。
○鵠っ子囲碁・将棋ルーム 21日 子供12名 探求６名(2) 保護者３名 囲碁も２名参加。
○災害研究部会 ５日 14名(4)、夏の迷走台風など。
○極楽部会 17日 ９名、老いと記憶
○健康を探求する会 25日５名 スマホこり。
○農園部会 ７日６名、オクラ、トマトなどの収穫。
○談話室 17日９名 コロナ、30周年記念行事。
○ヤングブラザーズ 13日は台風､27日はコロナで中止。
○俳句の部会｢似歌会｣ 第119回通信句会10名30句
以下の部会は新型コロナ感染対策、夏休みのため休会
○子どもと遊ぶ会○サロン会○健康部会○探訪部会
○カラオケ部会○近代史を語る会○おひる探Ｑ会
○デジタル情報部会○企業研究部会
○なつかしの名盤愛好会

()内はゲスト人数で内数

クラブ短信

鵠沼松が岡公園愛護会の部会長交代

2016年４月より６年半の長きにわたり同愛護会の部会長を務められた甘利紘さんが降板、新たに萩原興成さんが部会長に就任した。

自　由　席

「初めて買ったレコード」

奥村 誠

レコードを初めて買ったのは昭和 37 年の 6 月でしたが、それ以前の思い出からお話ししたいと思います。

私は大のモーツァルト好きですが、クラシック音楽との出会いは小学生の頃で、父親が SP レコードをコレクションしていたため、聞かされるうちにクラシック音楽に馴染んでいました。母親は、それは胎教のせいだと言ってましたが…。

中学生になると、ラジオの音楽番組をよく聴くようになり、様々な作曲家の曲に触れていきました。その後 NHK の第 1 と第 2 放送の 2 波を使ったステレオ放送が始まりました。音質が揃っていない2台のラジオを並べて聴く質の悪いステレオでしたが、それでも臨場感のある音に感動した事を鮮明に記憶しています。特に音の広がりのある交響曲は最高でした。

その後、私立大学に入学したのですが、親には入学金を払ってもらった上にステレオセットのおねだりをしました。ラジオ少年だった私は秋葉原に通っていましたので、2 局の AM と FM が聴けるチューナー付きアンプや2ウエイスピーカーシステム、ターンテーブル、トーンアーム、カートリッジ等を、メーカーを吟味しながら買い集めました。10 万円近い買い物だったので、親に感謝しています。

思い出のステレオセット

クレンペラー指揮フィルハーモニア管弦楽団

初めて買ったレコードは冒頭で述べた通り、昭和 37 年 6 月ですが、この時からレコードを購入するたびにジャケットの隅に購入年月を記入していたので間違いありません。最初に買ったレコードは、僅かな小遣いの中から買ったので慎重に選んだことを記憶しています。その時の選択判断ではステレオ効果の大きい交響曲、交響曲といえばベートーヴェンでした。そこまでは迷いませんでしたが、9曲の中より何番を選択するかを悩みました。

そんな状況では「運命」を選択する人が多いと思いますが、のどかな田園風景を描写した第 6 番の「田園」を選びました。今でもその思いは変わりません。その後、3 番から 9 番まで揃えるのですが、モーツァルトを聴くようになったのは、そのあとでした。

編集後記　公民館まつりは第 44 回と第 45 回が連続で中止となっていたが、今年はいろいろな制約の中、第 46 回を開催することになった。巻頭には当クラブの世話人副代表で公民館まつりの実行委員長を務める田中章さんが投稿。続いて当クラブが本年参加する公民館まつりの各イベントの紹介記事を大木さんが執筆。当クラブでは多くの部会がボランティア活動をおこなっているが、クラブ外でボランティア活動をしている方もおられる。本号では岸さんと玉田さんにお願いし、ご自身で取り組んでいる活動を紹介していただいた。吉原さんと塙さんは当クラブ入会前後の様子をビフォア・アフターに。小川さんの気象の話シリーズ（5）では戦国時代の合戦と霧の発生に関した話が登場。部会活動関連では極楽部会長交代にあたり、新旧部会長の坂口さんと嶋村さんからそれぞれの思いを投稿いただいた。自由席には「初めて買ったレコード」を奥村さんが投稿。きれいなジャケットの写真が印象的である。　（塩爺）

会報　くぐひ　第 111 号
2022 年 10 月 1 日
発行 くげぬま探求クラブ
発行人 大木 信一
編集長 塩川 昌男